

【学校教育目標】豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成



第五小だより

笑顔あふれる元気な朝霞第五小

令和4年5月号
朝霞市立朝霞第五小学校
朝霞市泉水3-16-1
Tel.048-462-0455



自然に声をかける

校長 三好正浩

校庭の桜の木も葉桜となり、色鮮やかな新緑の季節になりました。5月に入り、1年生も学校生活にすっかり慣れ、楽しく生活している様子にほっとしています。上級生がしっかり見守り、思いやりを持って支えてくれています。子供達のやさしさに感謝の気持ちでいっぱいです。上級生のみなさん ありがとうございます。

さて、過日電車に乗っていた時のことです。赤ちゃんを抱えた女性が電車に乗ってこられました。すると、座席に座っていた男性が、すぐに声をかけ席を譲りました。外国人の男性でした。とても自然に声をかけていらしたことに感動すると同時に心温まる一瞬に出会えたことに嬉しくなりました。最近、席を譲ることに対して躊躇する人が多くなっていると聞きます。いろいろな思いが入り混ざっての現象かも知れません。しかし、相手を気遣う思いや行為は大切にしていきたいものです。本校が目指す徳育の目標「優しい子」は、豊かな人間性やコミュニケーションの力をはぐくむことを目標としています。困っている人や大変そうにしている人を見かけたとき、相手を思い自然に声をかけることができることもその1つです。子供達には、人を思い、気遣える子に育ててほしいと思っています。そのためには、学校・家庭・地域が力を合わせ、『学校で学び、家庭でしつけ、地域ではぐくむ』朝霞第五小学校でありたいと考えています。地域の皆様、保護者の皆様、どうぞあたたかなご支援をよろしく願いいたします。

